



「足らざるを知る」

山口県警察本部 警察県民課長 中村 美佐夫

会員の皆様には、犯罪被害者の方を社会で支えていくことの大切さに共感され、支援センターの活動に携わっておられることに対し、心から敬意と感謝を表します。

支援については、様々な取組がすすめられておりますが、被害者の方には100人100通りの苦しみがあります。また、被害に遭われてからの時間の経過や家族の構成、学業や仕事との両立など、その時々に必要な息の長い支援が今、求められています。

以前私が勤務していた警察署で、事件によりご主人を亡くされた奥様が食事を作ることが出来なくなった、との相談を受けました。警察として、どう支援できるのか悩んでいた時にセンターから適切なアドバイスをいただき、他の行政機関の支援を受けることが出来ました。

このような経緯もあり、今春、被害者の支援に直接携わる部署に着くことが出来たことに、やり甲斐と責任を感じております。

しかし、被害者の方や支援に関わっている皆さんとお話をする中で、自分の中に「足らざる部分」が如何に多いかも痛感しております。

警察といたしましては、今後とも被害者支援センターと連携を緊密に行い、被害者の方のための支援活動を活性化させ、「社会全体で被害者を支えていく」という気運を醸成し、支援の輪をもっともっと広げていきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願い致します。

山口被害者センターは様々な活動を行っています。

1

電話相談

専門的な訓練を積んだ相談員による相談、他機関へのご紹介を行っています。

2

面接相談

電話相談の結果、必要に応じて面談による相談に対応しています。

3

自助グループへの支援

同じような思いをされた方々が集える交流の場を提供しています。

4

病院・警察・裁判等への付き添い

被害者の希望に応じて、病院、裁判所、警察署への付き添いなどを行います。

5

その他の活動

被害者支援の大切さを多くの人に知ってもらうために、講演会や研修会の開催、機関誌の発行、広報キャンペーンなどの活動を行っています。

ご相談はこちらへ [電話相談・面接相談専用]

《相談・支援：無料》《秘密厳守》

☎ 083-974-5115

受付時間

●毎週 月～金曜日 / 10:00～16:00 ※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

犯罪被害者支援 公開講座を開催しました

平成27年 5月31日(日)、山口グランドホテルにて、犯罪被害者支援公開講座を開催いたしました。

本年度は講師として全国犯罪被害者の会あすの会副代表監事の土師守氏をお迎えしました。この公開講座は平成27年度被害者支援員養成講座の第一回入門講座となっております。



《土師さんのお話を聞いて》

- ・ あらためて、被害者の思いを直接聞くことができ、被害者支援の重要性をとて強く感じました。また、いつ自分自身も家族も被害者あるいは加害者にもなりうる現実を痛感しました。皆が安心して暮らせる世の中であってほしいと願います。(40代女性)
- ・ 「犯罪被害は、他人事ではなく、誰にでも起こりうる」この言葉が印象的でした。(50代女性)
- ・ 本当に当事者でないと分かり合えない事もたくさんあると思いますが、できる限り支援できればと切に願います。私にも何か出来ることがあればと、行動に移すにはどうすれば良いのかをこの機会に考えていきます。(60代女性)
- ・ 犯罪被害者支援にあたっては、犯罪被害者及びその遺族の心情、置かされている立場を理解し状況に応じて対応することが大切であることを改めて考えさせられた。(40代男性)
- ・ 被害者にあわれた方の生の声を聴くことができ、非常に有意義であったし、多くの方が受講されている状況を頼もしく感じた。(50代男性)

犯罪被害者支援員養成講座開講

平成27年 5月31日(日)～平成27年 8月26日(水)に、被害者支援員養成講座を開講し4名が修了しました。

平成27年度通常総会開催される

平成27年度通常総会を6月27日(土) 山口県セミナパークにおいて開催いたしました。

<平成27年度役員>

役 職 名	氏 名	所 属 団 体 名
理 事 長	濱本 史明	(一社) 山口県医師会副会長
副理事長	原 昌克	(社会福祉法人) 山口県社会福祉協議会会長
理 事	山根 捷二	元山口被害者支援センター理事
	山本 英夫	(一社) 犯罪被害者支援センター事務局長
	太田 列子	山口県臨床心理士会 被害者支援担当幹事
	押江 隆	(国立大学法人) 山口大学教育学部
	鶴 義勝	山口県弁護士会犯罪被害者センター委員長
	坂井 譲	J A山口県厚生連メンタルヘルス対策室長
	島田 令子	山口県聴覚障害者福祉協会理事長
	藤本 治道	医療法人千寿会岩国第一病院理事長
	近間 純栄	徳山更正保護女性会会長
	新井 道子	エフエム山口編成制作部次長
理 事	藤本 宏志	(一社) 山口県損害保険代理業協会
監 事	青海 博文	青海博文税理士事務所 税理士

<事業報告>平成26年 4月1日~平成27年 3月31日

◆相談受理・支援状況（NPO法人の時代の実績を含む）

昨年度中の相談受理及び直接支援関係は次表のとおりです。

相談受理関係

相談種別	件数
殺人（傷害致死）	0
強盗（致死傷）	0
強姦	19
強制わいせつ	4
その他の性犯罪	3
暴行・傷害	3
その他の身体犯	0
交通死亡事故	32
交通事故	9
財産的被害	14
DV	12
ストーカー	2
虐待	0
その他	73
合 計	171

直接支援関係

支援内容	件数
警察関連支援	0
裁判関連支援	4
検察庁関連支援	1
行政窓口への付き添い支援	6
病院付き添い	1
自宅訪問支援	25
宿泊施設提供支援	0
その他の支援	17
合 計	54



<会 計>（一般社団法人のみ）

収入の部（収益を除く）

勘定科目	26年度決算	27年度予算
会費収入	649,000	1,650,000
委託事業収入	9,235,472	6,600,000
寄付金収入	2,068,829	23,612,134
雑収入	10,630	1,000
当期収入合計	11,963,931	31,863,134
前期繰越収支差額	0	5,300,000
収入合計	11,963,931	37,163,134

支出の部（収益を除く） 単位：円

勘定科目	26年度決算	27年度予算
事業費	9,491,430	15,923,000
管理費	1,400,942	8,430,000
予備費	0	12,810,134
当期支出合計	10,892,372	37,163,134
次期繰越収支差額	1,071,559	0
支出合計	11,963,931	37,163,134

今年度は平成26年度事業報告・収支決算報告、平成27年度事業計画（案）・事業収支予算（案）、役員の選任を主な議案として開催されました。

広報啓発活動

H27.4.23

アトラス萩



H27.8.22 シンフォニア岩国
警察音楽隊サマーコンサート



H27.5.17 山口きらら博記念公園多目的ドーム
山口県警察視閲式



H27.8.29 菊川ふれあい会館
人権ふれあいフェスティバルin 下関



H27.5.20
イオン防府店



H27.9.26 山陽小野田市民館
交通安全フェスタ in 山陽小野田市



犯罪被害者等支援車両贈呈式

4月16日、犯罪被害者支援センターにて、犯罪被害者等支援車両の贈呈式が行われました。

これは、日本財団による平成26年度預保納付金助成によるものです。支援車両は、キャンピングカー仕様を改装したもので、応接セットや簡単な調理器具及び簡易ベッド等を備えてあります。

用途として

- ・移動相談車両
- ・直接支援時の待機スペース（裁判付き添い時等の利用）
- ・緊急用シェルター
- ・広報用

など、幅広く利用できるもので、今後はこの車両を活用し、県警察等関係各機関・団体の活動と連携した多角的な活動を行います。



平成27年度 犯罪被害者週間行事について

～考えてみませんか、犯罪被害者のために私たちが出来ること～
犯罪被害者支援週間（11月25日～12月1日）に行われる行事です。

日 時 平成27年11月29日（日）13時～16時

場 所 萩市土原『サンライフ萩』

内 容 ・「命の大切さを学ぶ教室」作文表彰

・被害者遺族による講演会

演題「少年犯罪を防ぐための地域の役割」

講師 少年犯罪被害当事者の会代表の武るり子氏

・岩国市出身のシンガーソングライター原田侑子さんによるギターソロライブ

・県警音楽隊演奏

お手伝いできる方、是非よろしくお願いいたします。詳しいことは事務局まで。

サンライフ萩の簡単な地図を、お願いします。

賛助会員募集

「山口被害者支援センター」の活動を資金面から支援していただける「賛助会員」を募っております。ご協力、よろしくお願いいたします。

編集・発行



全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援組織
山口県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

一般社団法人

山口被害者支援センター

〒754-0002 山口県小郡下郷1560-21

TEL/FAX : 083-976-5152

E-mail : yvsc@bz04.plala.or.jp

HP : <http://www.vv-yamaguchi.net>